

平成22年度 努力目標

- (1) 生徒が学習を生活の中心に据える環境を整え、考える力・創造する力を育成する。
- (2) 他人を思いやる心豊かな「西高生」を育て、規律ある行動ができる人間の育成を目指す。
- (3) 一人ひとりの進路実現のため、キャリア教育を充実し、実践的な指導に努める。

【具体的な目標】

(1) 学力の充実と向上を図る。

- ① 生徒に考えさせる授業展開を図り、生徒の進路希望にかなう学力の向上に努める。
- ② 毎日の家庭学習 2 時間を基本として、効果的な学習方法を身に付けさせる。
- ③ ことばに対する意識を高め、コミュニケーション能力の向上に努める。
- ④ 学習のつまづきを究明し、その対策を講じるとともに、学習指導法の工夫と改善に努める。
- ⑤ 考査・実力テストの問題作成において、論述する問題などを入れ、記述する力を育成する。
- ⑥ 情報化社会に対応できる生徒の育成に努める。

(2) 基本的生活習慣の確立を図り、規範意識の高揚に努める。

- ① あいさつ、服装、掃除などの指導において、全職員の共通理解を図る。
- ② 学校生活でのルールや時間を守る指導を徹底する。
- ③ 自転車通学など安全教育の徹底を図る。
- ④ 生徒一人ひとりを正しく理解し、心と心が通じ合った、いじめのない学校づくりに努める。

(3) 進路指導の充実を図る。

- ① 1 年次より生徒一人ひとりの進路意識の高揚を図る。
- ② キャリア教育の充実に努め、きめ細かな進路指導を実践する。
- ③ 進路に関する有効な情報を収集し、企業開拓に努めるなど個々の生徒のニーズに対応できる体制を整える。

(4) 小中高一貫教育の内容の充実を図る。

- ① 小中高 12 年間を見通した系統的・継続的な教育を進める。
- ② 小中高一貫教育の内容の工夫を図り、その成果を検証し、改善に努める。
- ③ 郷土学習を進め、郷土に感謝し、郷土を愛し、郷土に貢献する心を育てる。
- ④ 小学生・中学生を思いやる心を育て、地域社会に貢献するボランティア精神の高揚に努める。